

「まちづくり」「つくバス・つくタク」 地区別懇談会に関する報告

平成29年8月10日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課

1 開催概要

(1) 目的

「立地適正化計画の策定」及び「つくバス・つくタクの改編」の検討を進めるに当たり、地域の現状や課題及び意見を把握するために開催した。

(2) 開催期間及び開催回数

- ・ 7月8日から19日まで11日間
- ・ 8地区に区分し、合計22回開催した
- ・ 1回当たり約90分程度

(3) 内容

- ・ 「立地適正化計画」に関する事項及び「つくバス・つくタク」に関する事項を説明し、参加者から、質問及び御意見を聴取した。
- ・ その他、まちづくりに関することのについての御意見を聴取した。
- ・ 参加者対象にアンケート調査を実施し、自由記述型で御意見を把握した。

(4) 参加状況

①参加人数 合計411名 1回当たり平均18.7名

②アンケート回収数 317票（回収率 77.1%）

※有効回答数は設問によって異なる。



▲桜地区 〔桜総合体育館〕



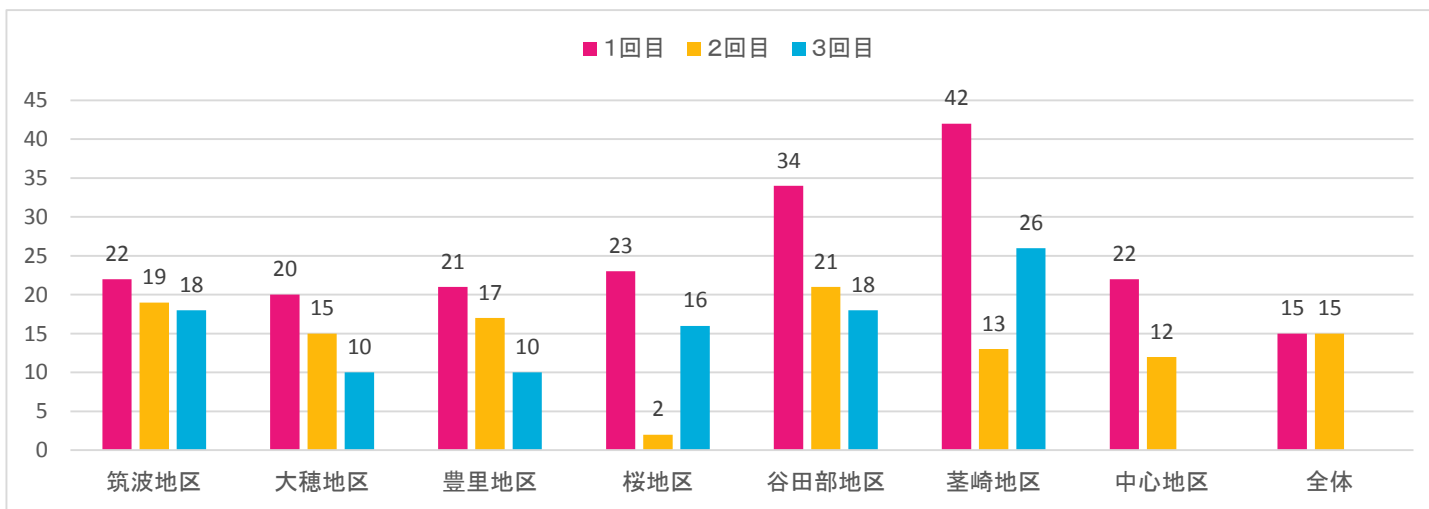
▲中心地区 〔サイエンスインフォメーションセンター〕

2 地区別参加者数

- 開催地区別の来場者としては、荃崎地区が最も多く、81名の参加があった。
- 1回当たりの参加者の平均は18.7名であったが、大穂、豊里、桜が若干少なかった。
- 1回目の開催に参加する人が多い傾向にあった。

	1回目		2回目		3回目		合計	平均
筑波地区	22	休日	19	平日午後	18	平日夜間	59	19.7
大穂地区	20	休日	15	平日午後	10	平日夜間	45	15.0
豊里地区	21	休日	17	平日午前	10	平日夜間	48	16.0
桜地区	23	平日午後	2	平日夜間	16	休日	41	13.7
谷田部地区	34	平日午後	21	平日夜間	18	休日	73	24.3
荃崎地区	42	平日午後	13	平日夜間	26	休日	81	27.0
中心地区	22	休日	12	平日夜間			34	17.0
全体	15	休日	15	平日夜間			30	15.0
合計	199		114		98		411	18.7

▼開催地区別開催会別参加者数



3 開催回別参加者状況

- 男性の参加者の方が多かった。
- 第10回（7月12日19:00～桜会場）は、夕方からの急な天候不順により参加者が少なかったと想定される。

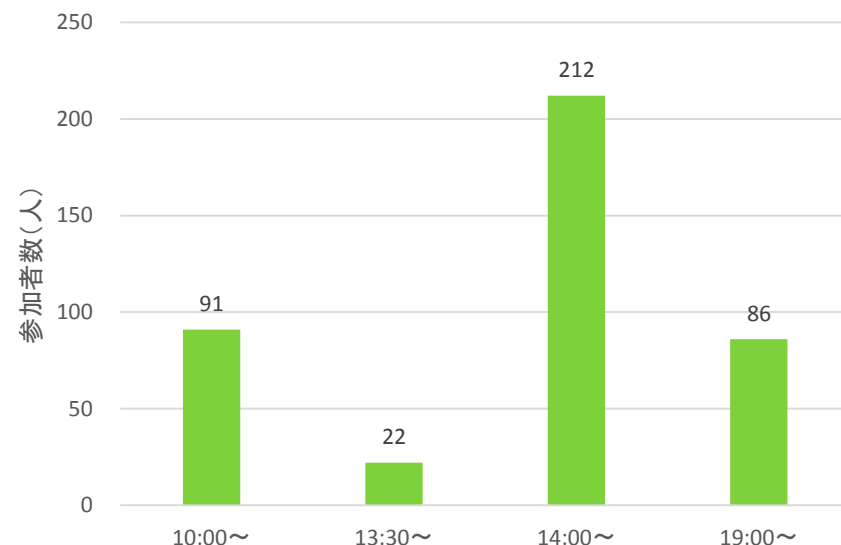
開催情報				男性	女性	合計
第1回	7月8日	10:00～	豊里	20	1	21
第2回		14:00～	大穂	16	4	20
第3回	7月9日	10:00～	全体	10	5	15
第4回		13:30～	中心	9	13	22
第5回	7月10日	14:00～	豊里	10	7	17
第6回		19:00～	豊里	8	2	10
第7回	7月11日	14:00～	全体	8	7	15
第8回		19:00～	中心	9	3	12
第9回	7月12日	14:00～	桜	15	8	23
第10回		19:00～	桜	2	0	2
第11回	7月13日	14:00～	谷田部	15	19	34
第12回		19:00～	谷田部	17	4	21
第13回	7月14日	14:00～	荃崎	22	20	42
第14回		19:00～	荃崎	10	3	13
第15回	7月15日	10:00～	谷田部	16	2	18
第16回		14:00～	荃崎	14	12	26
第17回	7月16日	10:00～	筑波	14	8	22
第18回		13:30～	桜	11	5	16
第19回	7月18日	14:00～	大穂	8	7	15
第20回		19:00～	大穂	10	0	10
第21回	7月19日	14:00～	筑波	13	6	19
第22回		19:00～	筑波	15	3	18
合計				272	139	411

4 参加者状況《時間帯, 実参加者数》

時間帯別参加者数

- 高齢者の参加者が多かったためか、昼間時間帯の参加が最も多かった。

	10:00～	13:30～	14:00～	19:00～	合計
筑波	22		19	18	59
大穂	15		20	10	45
豊里	21		17	10	48
桜			39	2	41
谷田部	18		34	21	73
荃崎			68	13	81
中心地区		22		12	34
市全体	15		15		30
合計	91	22	212	86	411



参加者実人数

- 実参加者数は350人程度と推測される。
- 最も参加回数が多い人は、全22回参加していた。

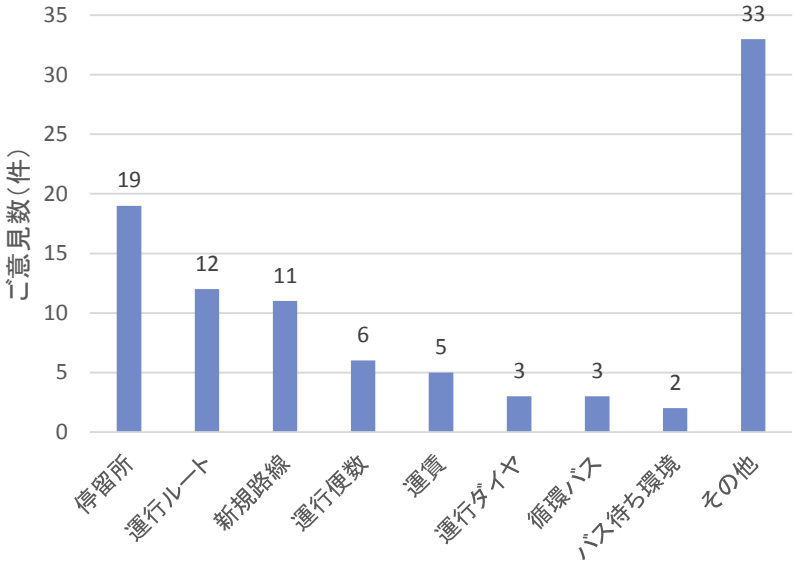
	1回	2回	3回	4回	5回以上	合計(実人数)
実人数	325	15	6	2	2	350

5 参加者からのご意見

- 全体的につくバスに関するご意見が多かった。
- つくバスでは、「停留所の設置」、「運行ルートの変更」、「新規路線の開設」等の意見が多かった。
- つくタクでは「予約が取れない」、「運行エリアの見直し」、等の意見が多かった。

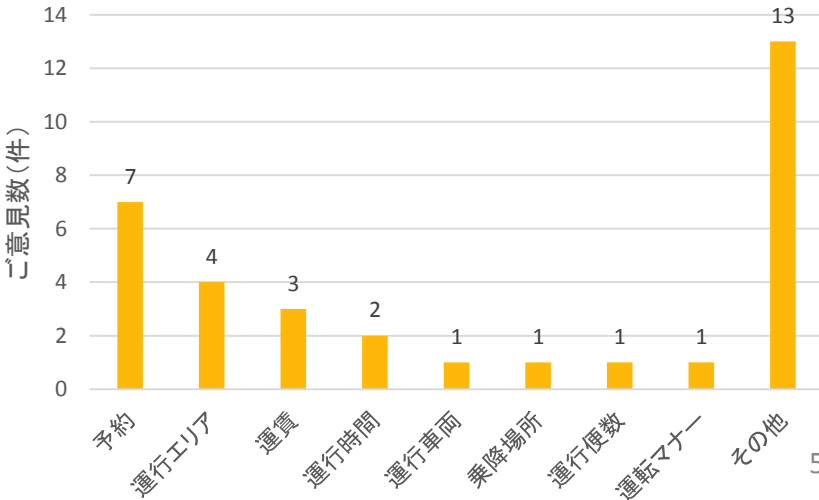
つくバス

カテゴリ	北部	小田	作岡	吉沼	南部	谷田部	自由ヶ丘	その他	合計
停留所	3	3	1	3	1	4	0	4	19
運行ルート	2	3	1	1	2	1	2	0	12
新規路線	0	1	0	1	0	0	0	9	11
運行便数	1	1	0	2	0	0	0	2	6
運賃	0	1	0	0	0	0	0	4	5
運行ダイヤ	1	0	0	1	0	1	0	0	3
循環バス	0	1	0	0	0	0	0	2	3
バス待ち環境	0	1	0	0	0	1	0	0	2
その他	3	0	1	1	0	1	0	27	33
合計	10	11	3	9	3	8	2	48	94



つくタク

カテゴリ	筑波	大穂	豊里	桜	谷田部	荃崎	中心地区	全体	合計
予約	1	0	0	2	3	0	1	1	7
運行エリア	0	1	1	0	0	1	1	0	4
運賃	1	1	2	0	0	0	0	0	3
運行時間	0	0	0	0	0	0	0	2	2
運行車両	0	0	1	0	0	0	0	0	1
乗降場所	0	0	0	0	0	1	0	0	1
運行便数	0	0		1	0	0	0	0	1
運転マナー	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	1	3	2	1	5	0	1	1	13
合計	2	5	6	2	6	2	2	3	26



6 アンケート回収状況

- アンケートの平均回収率は、約77%であった。
- 各回とも参加者の大半以上がアンケートに協力してくれた。
- 複数回参加している参加者もいるため、アンケートを記載していない人もいる。

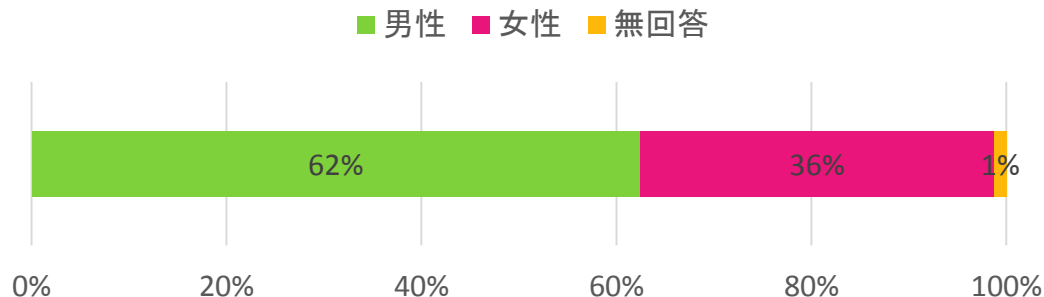
開催情報				回収数	参加者数	回収率
第1回	7月8日	10:00～	豊里	16	21	76.2%
第2回		14:00～	大穂	15	20	75.0%
第3回	7月9日	10:00～	全体	13	15	86.7%
第4回		13:30～	中心	19	22	86.4%
第5回	7月10日	14:00～	豊里	17	17	100.0%
第6回		19:00～	豊里	8	10	80.0%
第7回	7月11日	14:00～	全体	11	15	73.3%
第8回		19:00～	中心	11	12	91.7%
第9回	7月12日	14:00～	桜	19	23	82.6%
第10回		19:00～	桜	1	2	50.0%
第11回	7月13日	14:00～	谷田部	28	34	82.4%
第12回		19:00～	谷田部	13	21	61.9%
第13回	7月14日	14:00～	荃崎	38	42	90.5%
第14回		19:00～	荃崎	8	13	61.5%
第15回	7月15日	10:00～	谷田部	13	18	72.2%
第16回		14:00～	荃崎	16	26	61.5%
第17回	7月16日	10:00～	筑波	15	22	68.2%
第18回		13:30～	桜	15	16	93.8%
第19回	7月18日	14:00～	大穂	11	15	73.3%
第20回		19:00～	大穂	7	10	70.0%
第21回	7月19日	14:00～	筑波	11	19	57.9%
第22回		19:00～	筑波	12	18	66.7%
合計				317	411	77.1%

7 回答者属性

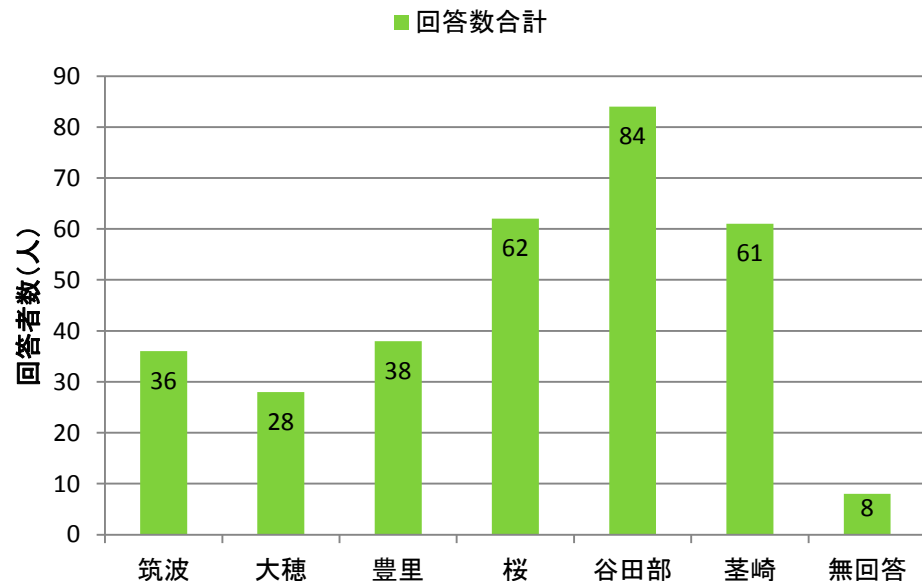
- 男性回答者が約 6 割，女性回答者が約 4 割であった。
- 回答者の居住地は谷田部，荃崎，桜地区の回答が多い。
- 回答者の年齢階層は，60歳代以上が多く，70歳代以上が最も多い。

▼性別回答者数

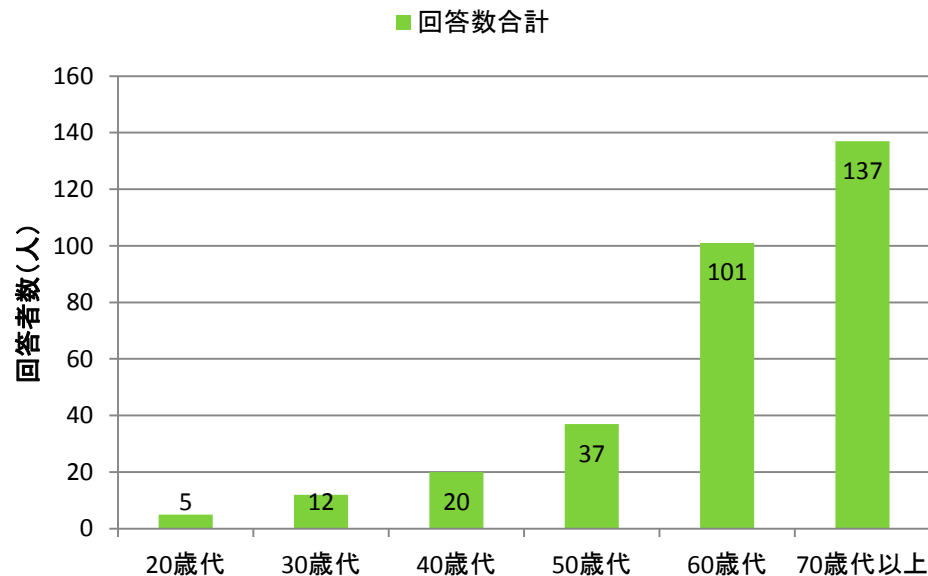
性別	回答数	割合
男性	198	62%
女性	115	36%
無回答	4	1%
総計	317	100%



▼居住地別回答者数



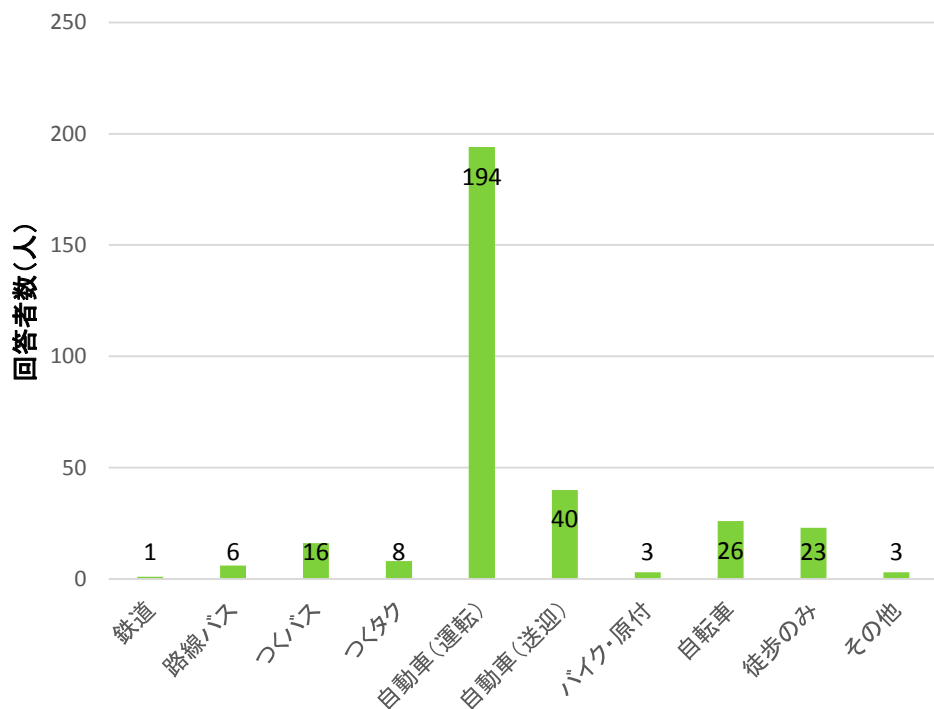
▼年齢階層別回答者数



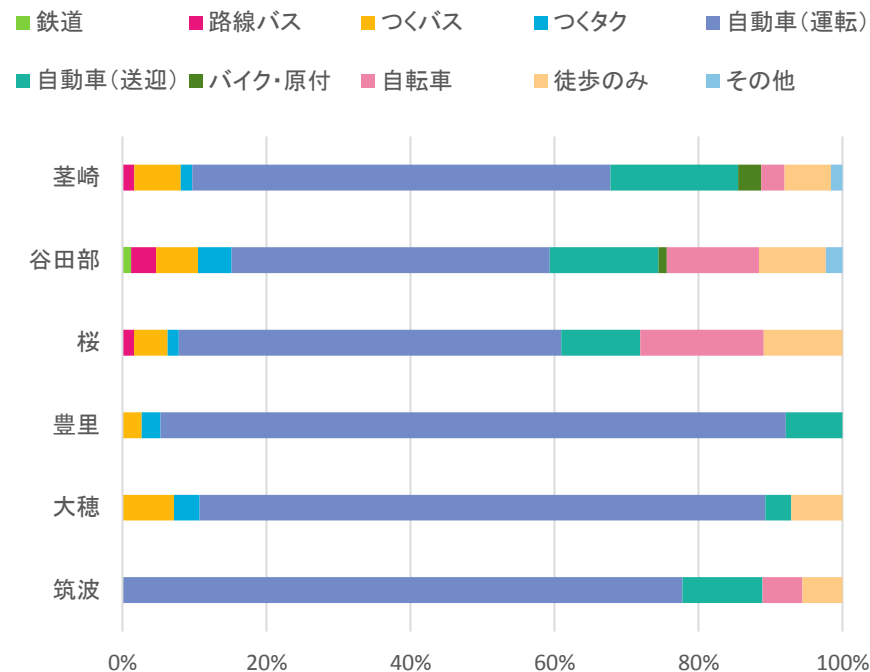
8 参加者交通手段

- 参加者の交通手段の約6割を自動車（自分で運転）が占めている。次いで、自動車（送迎）が12%が多い。
- 若干であるが、つくバス、つくタク、自転車、徒歩での参加もあった。昼間時間帯の開催もしたため、つくタク、自転車、徒歩での参加ができたと推測される。
- 谷田部地区、桜地区では、自動車以外の交通手段の利用が多い傾向にあった。

▼参加者交通手段



▼居住地別参加者交通手段

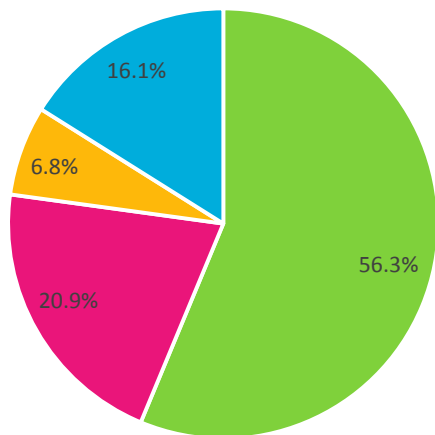


9 交通政策に関する自由記述記(1/2)

- 自由記述は全部で311件あった。283人の方が記載しており、記入率は約90%を占めており、1人当たりの記載数は約1.09件になる。
※まちづくりに関する自由記述は92人が記載。
- 懇談会の発言数よりも多くの方に記載していただけたので、実施した効果はあった。
- つくバスに関するご意見が最も多く、全体の約56%を占めている。

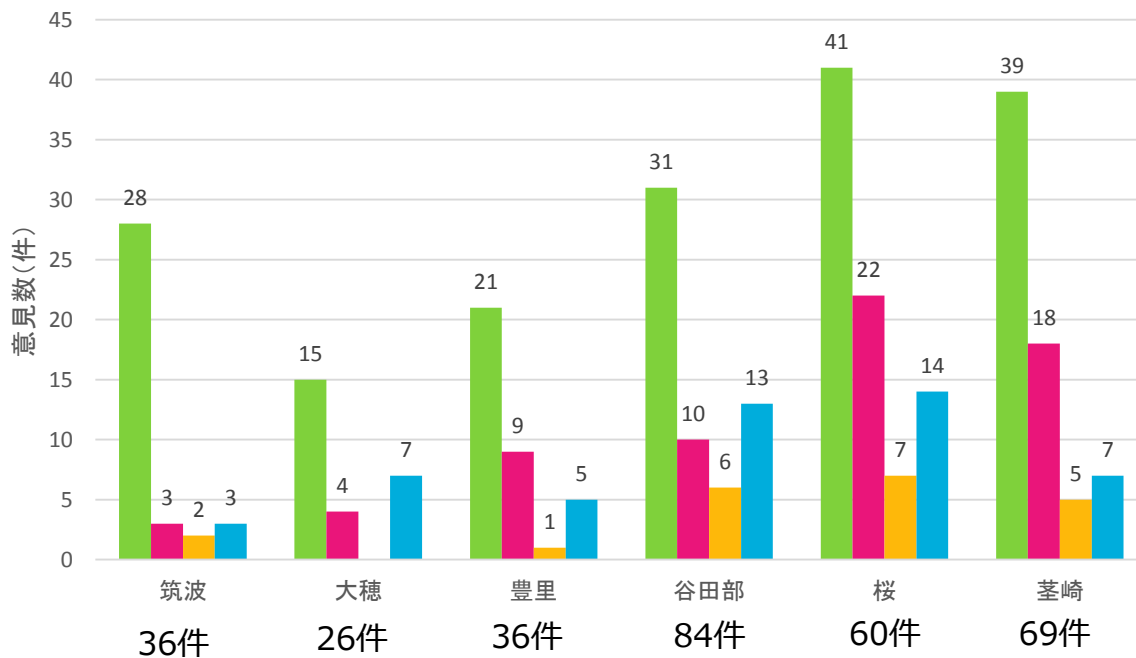
▼カテゴリ別自由記述数

■つくバス ■つくタク ■自転車 ■その他



▼地区別カテゴリ別自由記述数

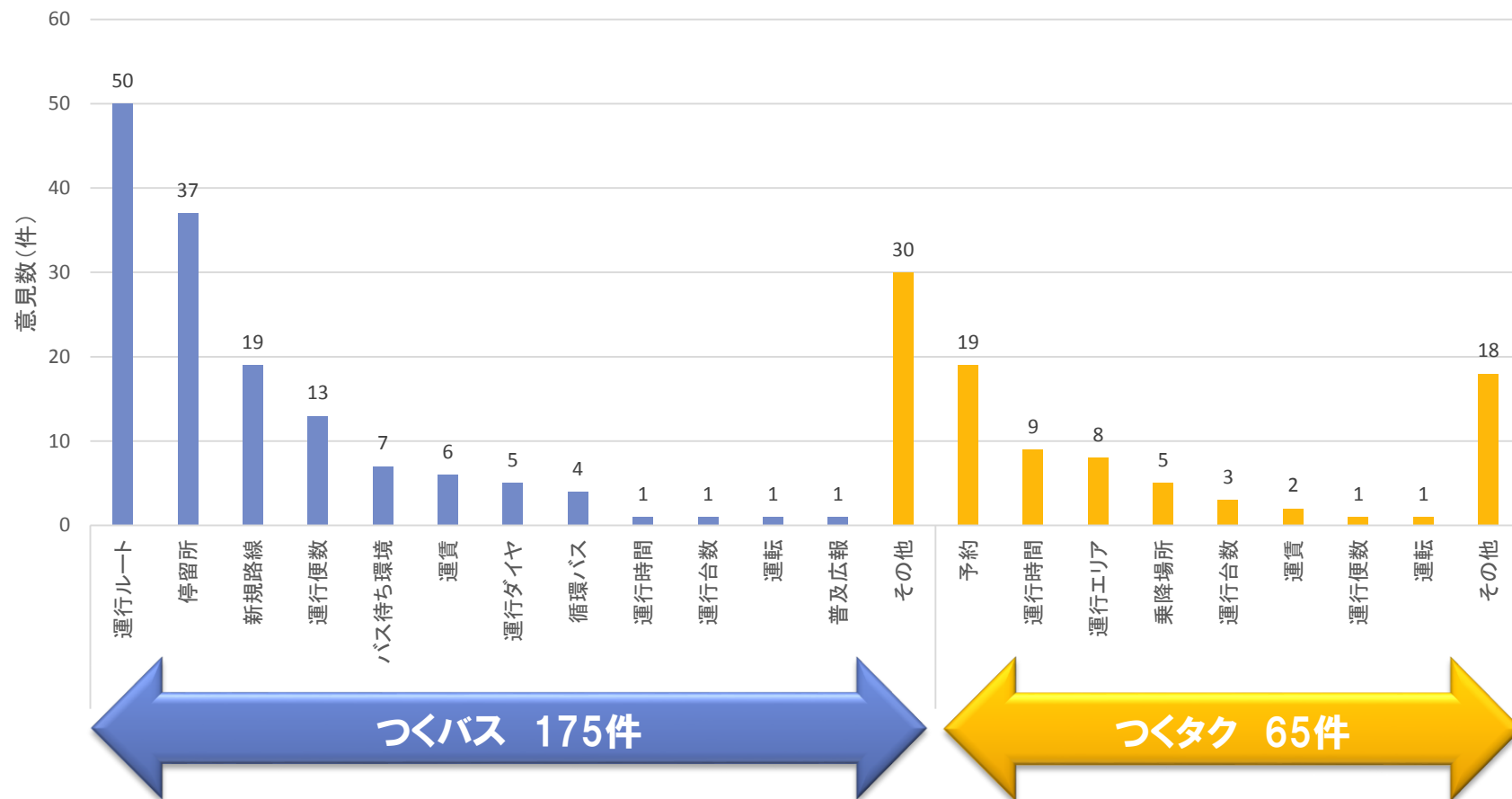
■つくバス ■つくタク ■自転車 ■その他



9 交通政策に関する自由記述記(2/2)

- 全体的につくバスに関するご意見が多かった。
- つくバスでは、「運行ルートの変更」、「停留所の設置」、「運行便数」、「新規路線の開設」等の意見が多かった。
- つくタクでは「予約が取れない」、「運行時間」、「運行エリアの見直し」、等の意見が多かった。

▼カテゴリ別自由記述数



「まちづくり」「つくバス・つくタク」地区別懇談会
つくバスに関するご意見可視化地図

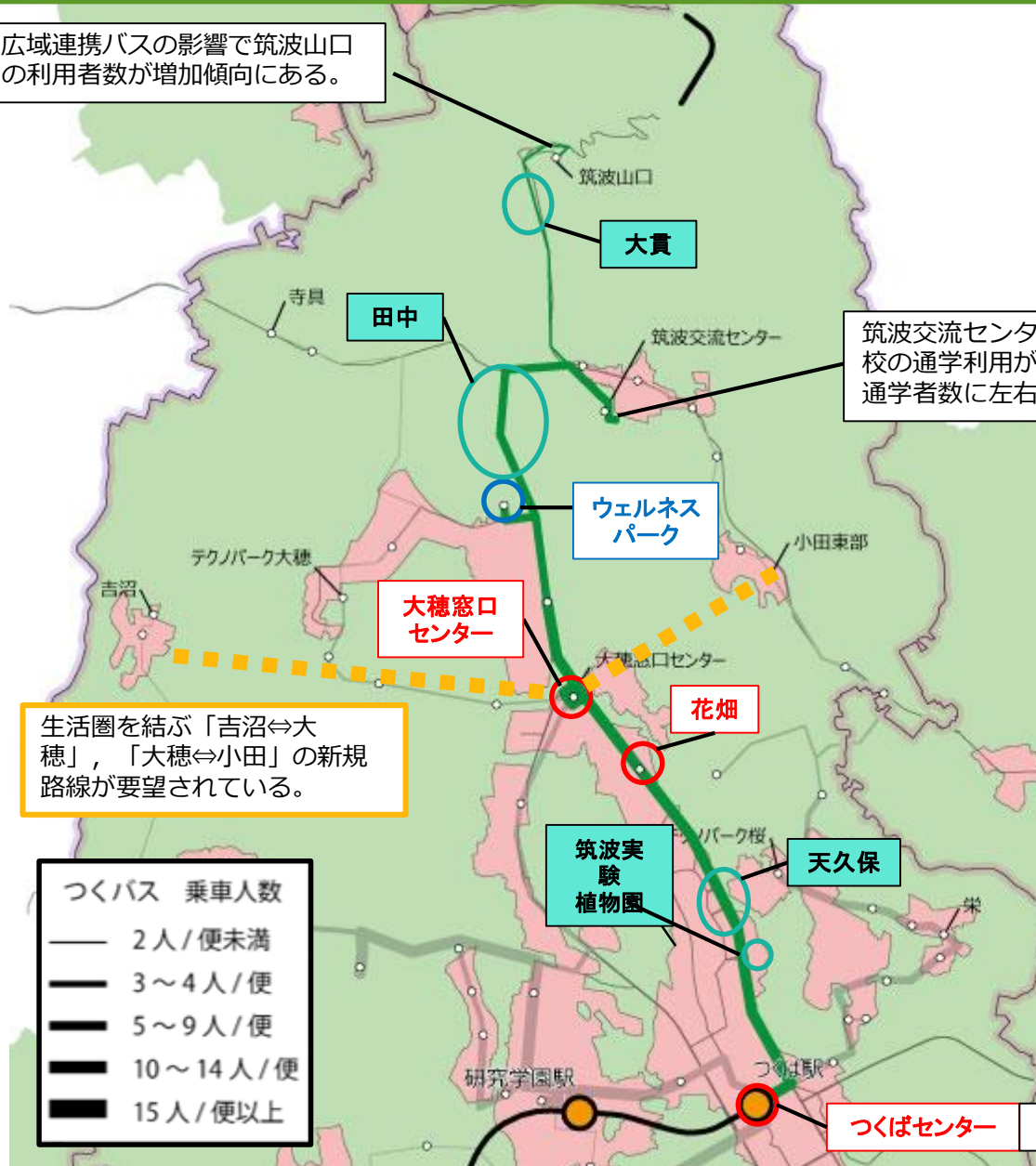
平成29年8月10日

つくば市 都市計画部 総合交通政策課

北部シャトル（1便当たりの利用者数16.3人）

広域連携バスの影響で筑波山口の利用者数が増加傾向にある。

- 利用者の多い停留所
- 利用者の少ない停留所
- 停留所の設置希望



筑波交流センターは、筑波高校の通学利用がされている。通学者数に左右されやすい。

◇路線の特徴

- ・ 停留所数が少ないため、速達性が担保されやすい。
- ・ 停留所間の距離があるため、日常生活における移動手段として利用しにくい。

◇課題・検討事項

- ・ 朝の便において利用者が多い。
- ・ 輸送力の増強が課題である。折返し便、車両の大型化、増便、関鉄路線バスの有効活用等について検討が必要である。
- ・ 停留所間の距離が遠いため、停留所の設置要望がある。

生活圈を結ぶ「吉沼⇄大穂」，「大穂⇄小田」の新規路線が要望されている。

つくバス 乗車人数

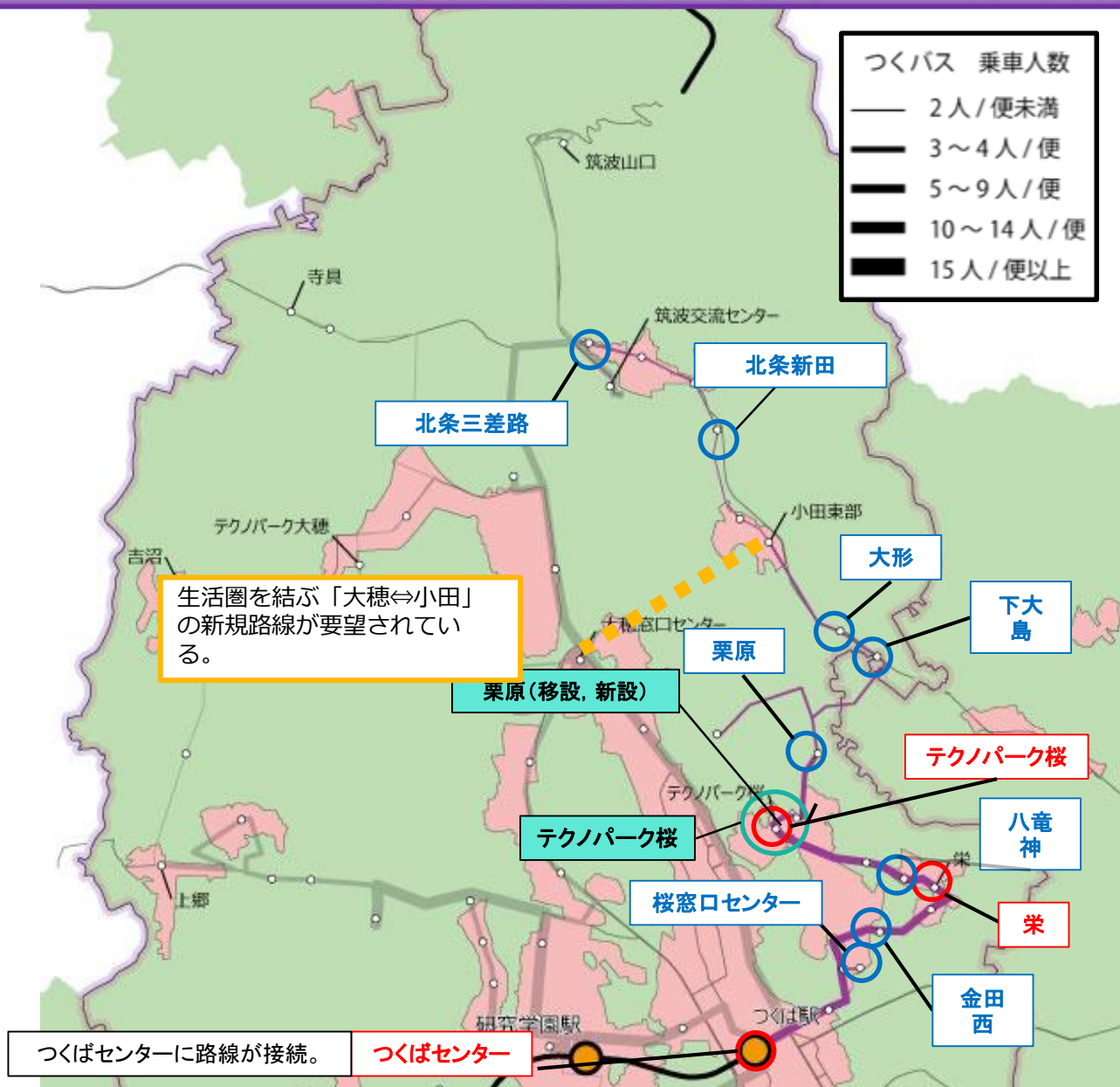
- 2人/便未満
- 3～4人/便
- 5～9人/便
- 10～14人/便
- 15人/便以上

- シャトル型のバス路線の在り方について検討が必要である。
→ 運行便数、運行ダイヤ、停留所数など

つくばセンター

つくばセンターに路線が接続。

小田シャトル（1便当たりの利用者数5.0人）



- 利用者の多い停留所
- 利用者の少ない停留所
- 停留所の設置希望

◇路線の特徴

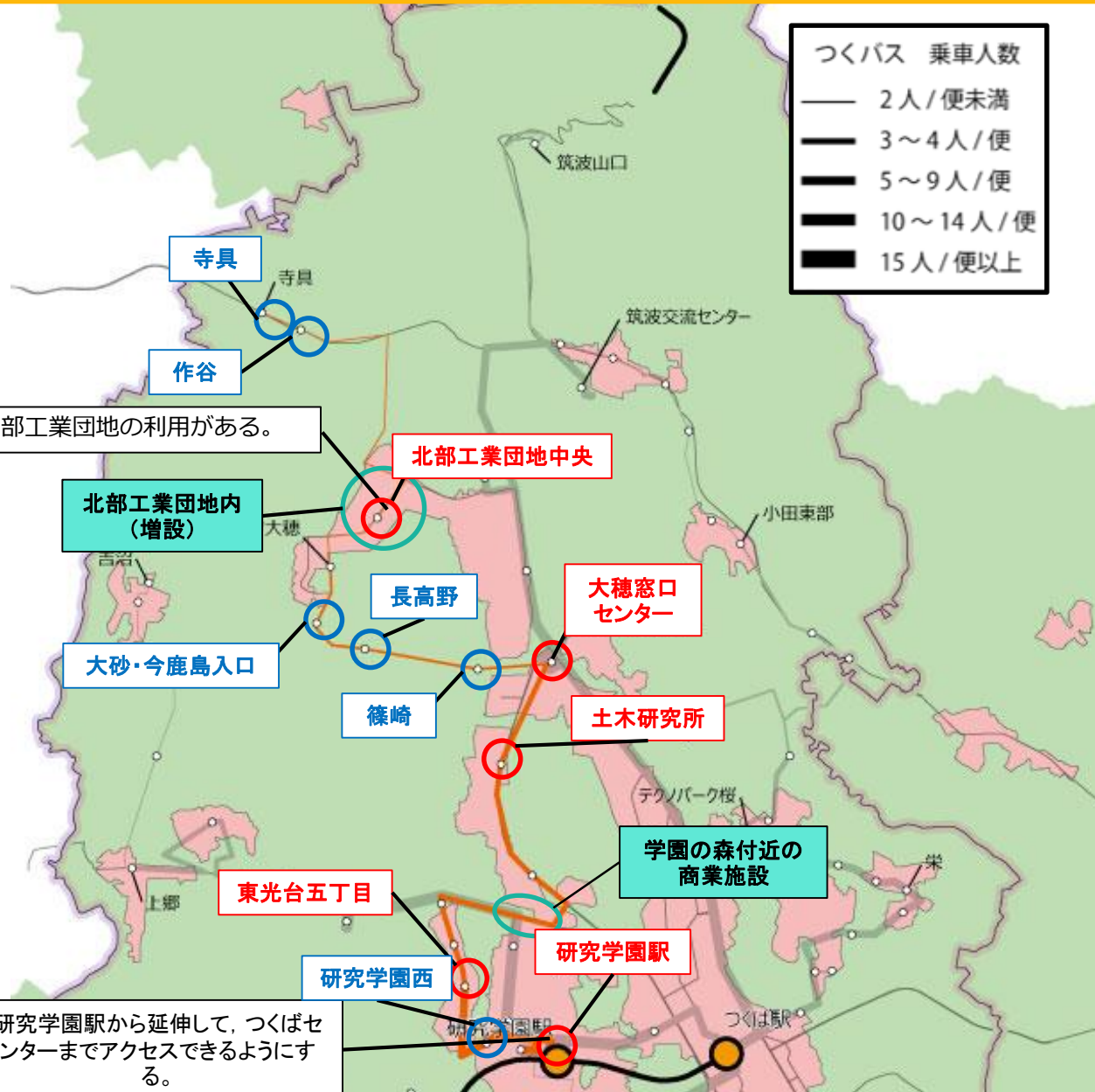
- ・小田城への観光に利用される。
- ・小田地区とテクノパーク桜間の移動に利用される。
- ・筑波地区からは、金田地内の運行について、速達性の低下につながっているとの指摘あり。
- ・生活圏の異なる2つの大型既成市街地を經由するため、路線が長くなっている。

◇課題・検討事項

- ・テクノパーク桜からつくばセンター間の速達性を上げるため、運行ルートの見直し要望がある。
- ・テクノパーク桜、春風台の人口増加に伴い、バス利用者が増加する可能性が高いため、中型バスの運行を視野に入れたバス路線の設計は必要になる。
- ・生活圏を踏まえると、北条地区、小田地区は、大穂窓口センター方面にアクセスしたい。

- 経由地が多いため、路線全体の速達性が課題である。
→ 運行ルート

作岡シャトル（1便当たりの利用者数6.5人）



- 利用者の多い停留所
- 利用者の少ない停留所
- 停留所の設置希望

◇路線の特徴

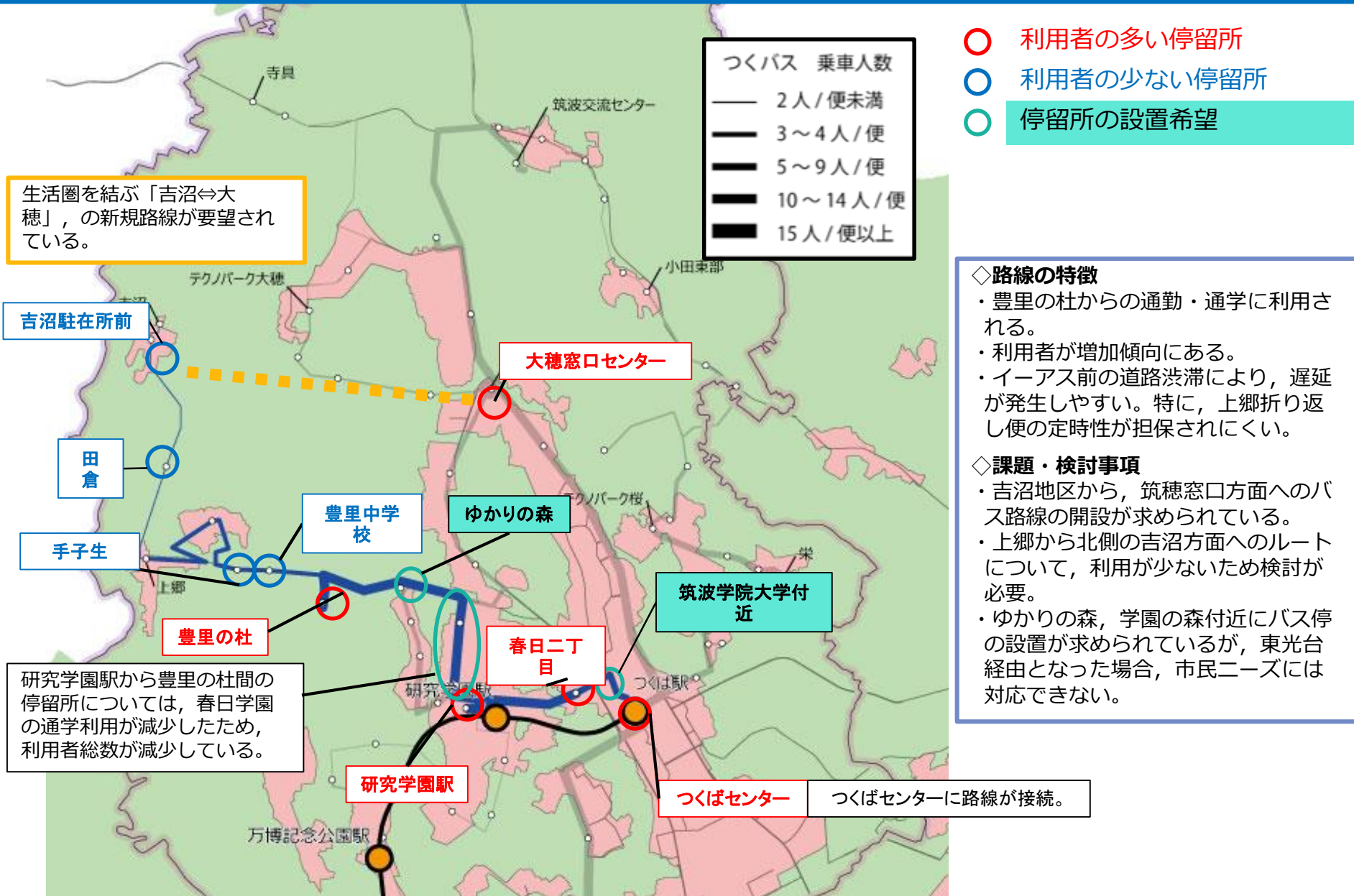
- ・研究学園駅と大穂窓口センター間の移動に利用される。特に、東光台の通勤に利用されている。
- ・大穂窓口センターより北部での利用が少ない。
- ・東光台経由の運行ルートが研究学園駅への速達性の阻害要因となっている。

◇課題・検討事項

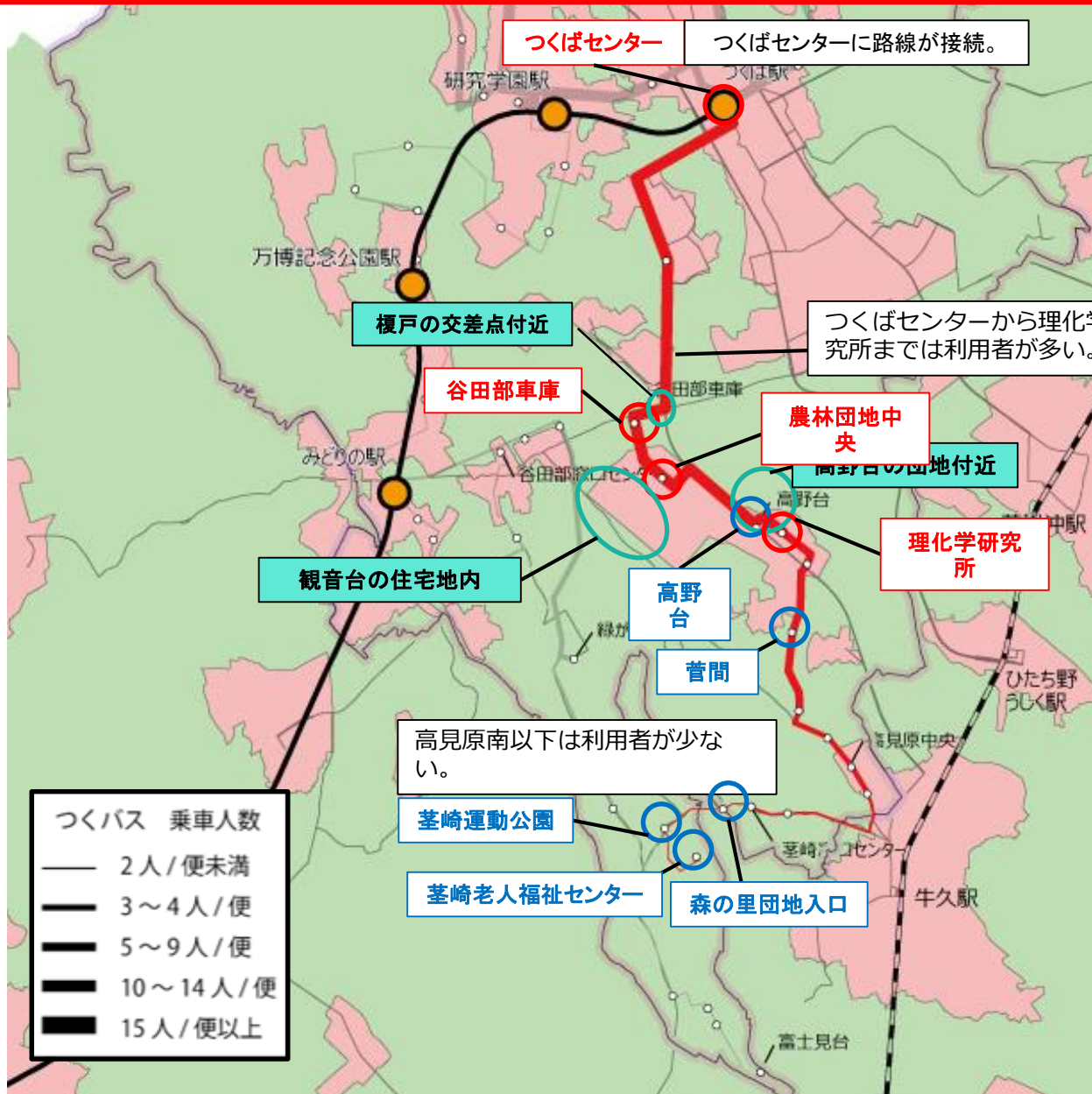
- ・全体として利用者が増加していない。速達性を向上させるか、もしくは路線全体の見直しが必要である。
- ・東光台については、吉沼シャトルとルートを入れ替え、研究学園駅までの速達性の向上に努める。
- ・学園の森など新興の商業施設付近に停留所の増設を図り、利便性向上に努める。

- 経由地が多いため、路線全体の速達性が課題である。
→運行ルート

吉沼シャトル（1便当たりの利用者数6.9人）



南部シャトル（1便当たりの利用者数9.5人）



- 利用者の多い停留所
- 利用者の少ない停留所
- 停留所の設置希望

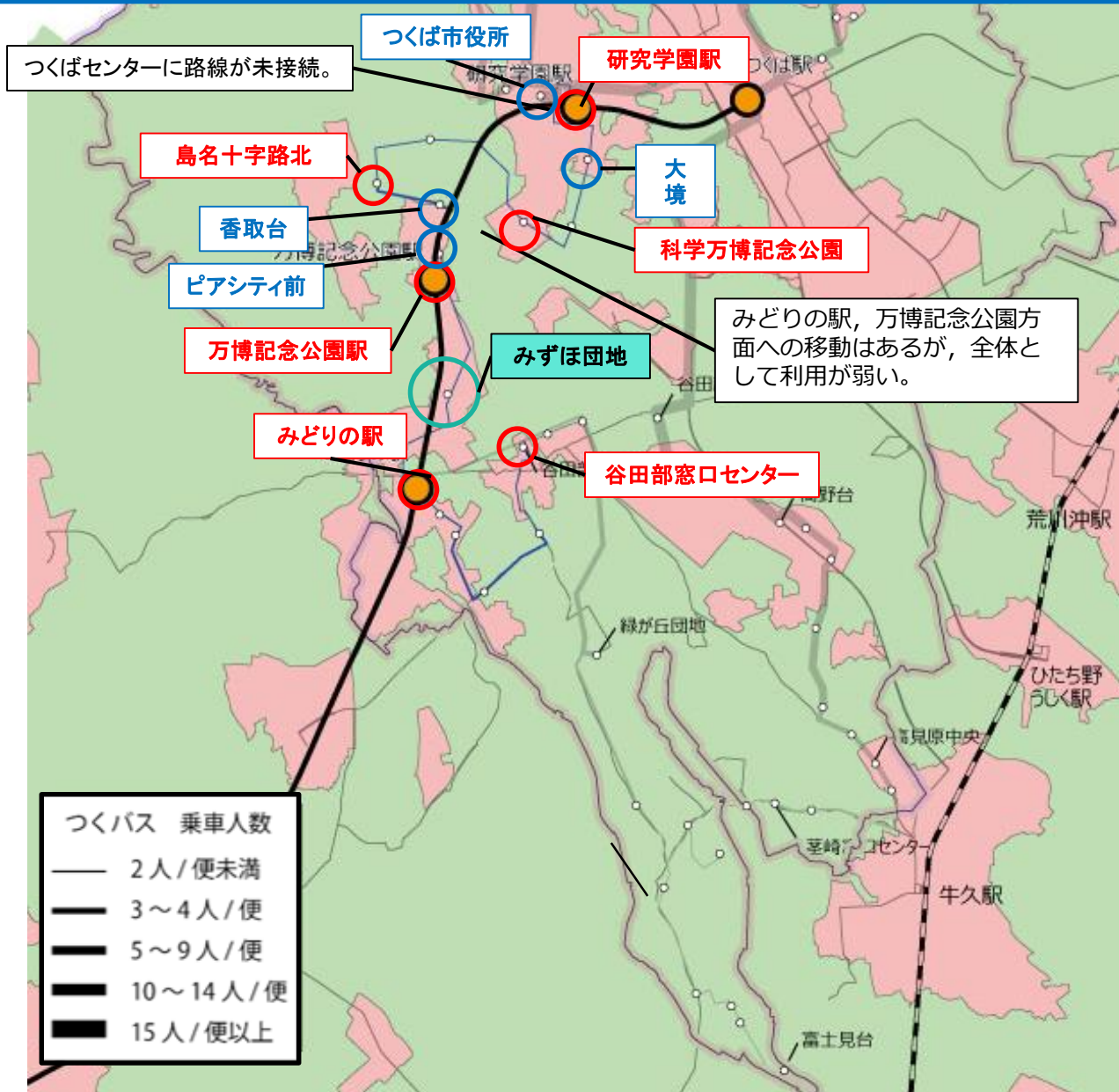
◇路線の特徴

- ・利用者が大きく増加している路線である。
- ・農林団地，高野台付近の通勤に利用されている。
- ・つくばセンターから農林団地間において，突発的に利用者が増加することがあり，積み残しが発生する可能性がある。
- ・茎崎地内の利用が少ない。

◇課題・検討事項

- ・利用者が少ない，茎崎地区内の路線について，検討が必要である。
- ※茎崎庁舎の跡地の方向性も注視しておく必要がある。

谷田部シャトル（1便当たりの利用者数4.0人）



- 利用者の多い停留所
- 利用者の少ない停留所
- 停留所の設置希望

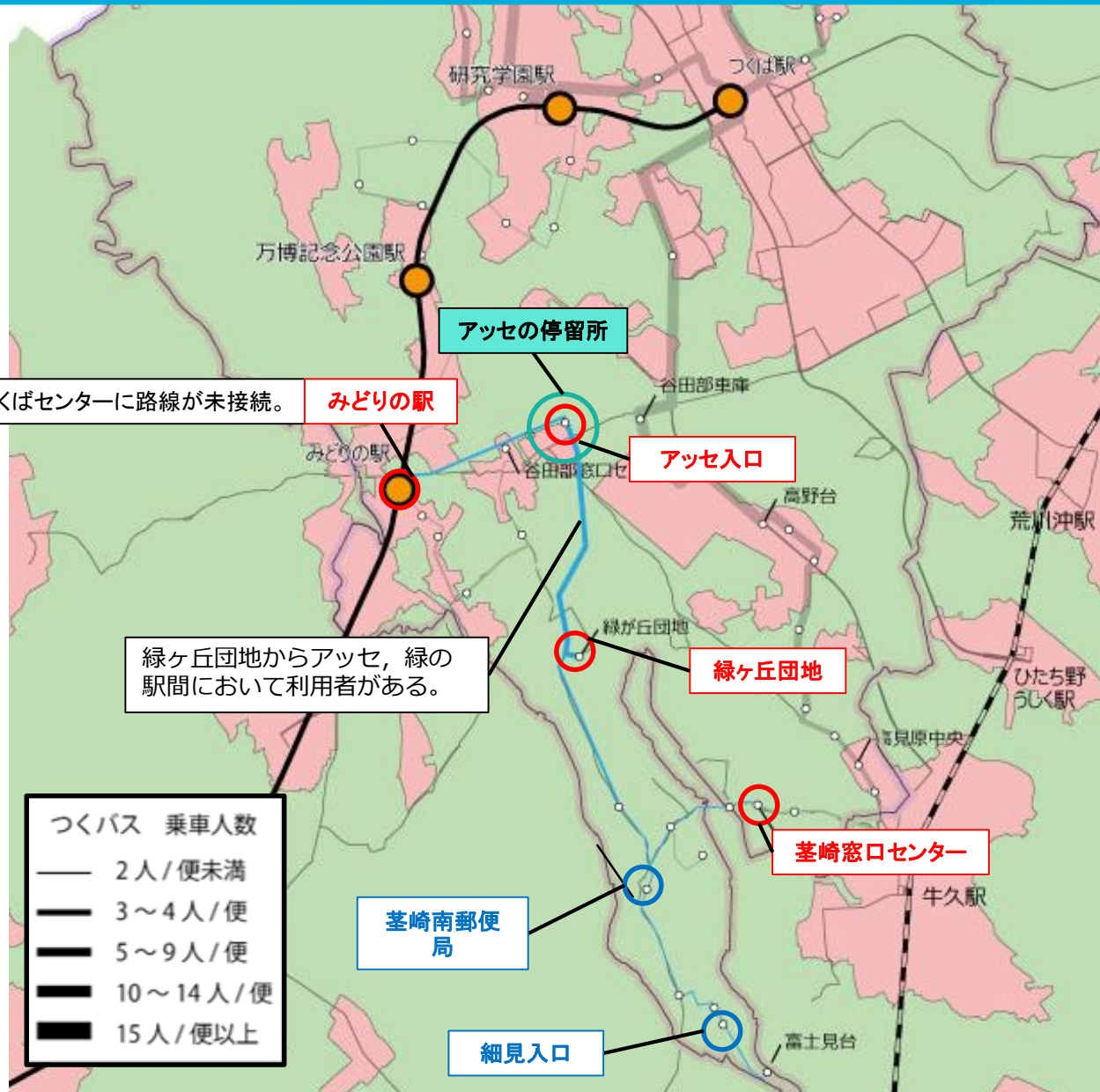
◇路線の特徴

- ・谷田部小・島名小の通学に利用されている。
- ・全体的に利用者が少ない。
- ・TXとルートが重複しており、目的地が不明確な路線である。

◇課題・検討事項

- ・谷田部小の通学利用がなくなった場合、路線としての維持が厳しくなる可能性が高い。
- ・目的地が明確でない路線のため、利用しにくい。路線全体の見直しが必要である。

自由ヶ丘シャトル（1便当たりの利用者数4.1人）



- 利用者の多い停留所
- 利用者の少ない停留所
- 停留所の設置希望

- ◇ **路線の特徴**
 - ・ 全体的に利用者が少ない。
 - ・ 南部シャトルと一部路線が重複している。
- ◇ **課題・検討事項**
 - ・ 利用者が少ないため、路線の必要性についての検討が必要である。
 - ・ 荃崎地区内の運行について、南部シャトルとの整理が必要である。
 - ・ つくば市役所（本庁舎）までの運行希望がある。

※荃崎庁舎の跡地の方向性も注視しておく必要がある。